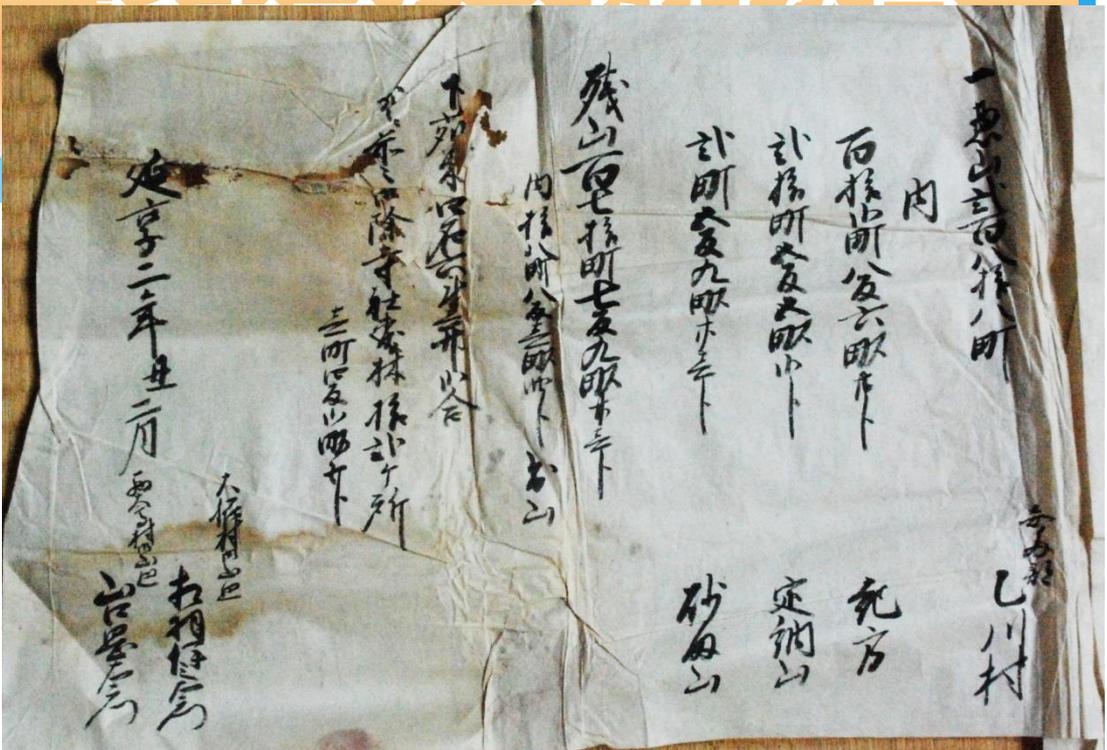


昔の乙川村の絵図を読む

半田市博物館
平成26年6月21日

博物館専門員 津田豊彦
同 柴田邦彦



一 惣山貳百八拾八町 知多郡乙川村

内

百拾貳町八反六畝廿分 起方

貳拾町五反五畝貳分 定納山

貳町五反九畝廿壹分 砂留山

残山百七拾町七反九畝廿壹分 内拾八町八反一畝 出山

下刈米四石六斗三升貳合

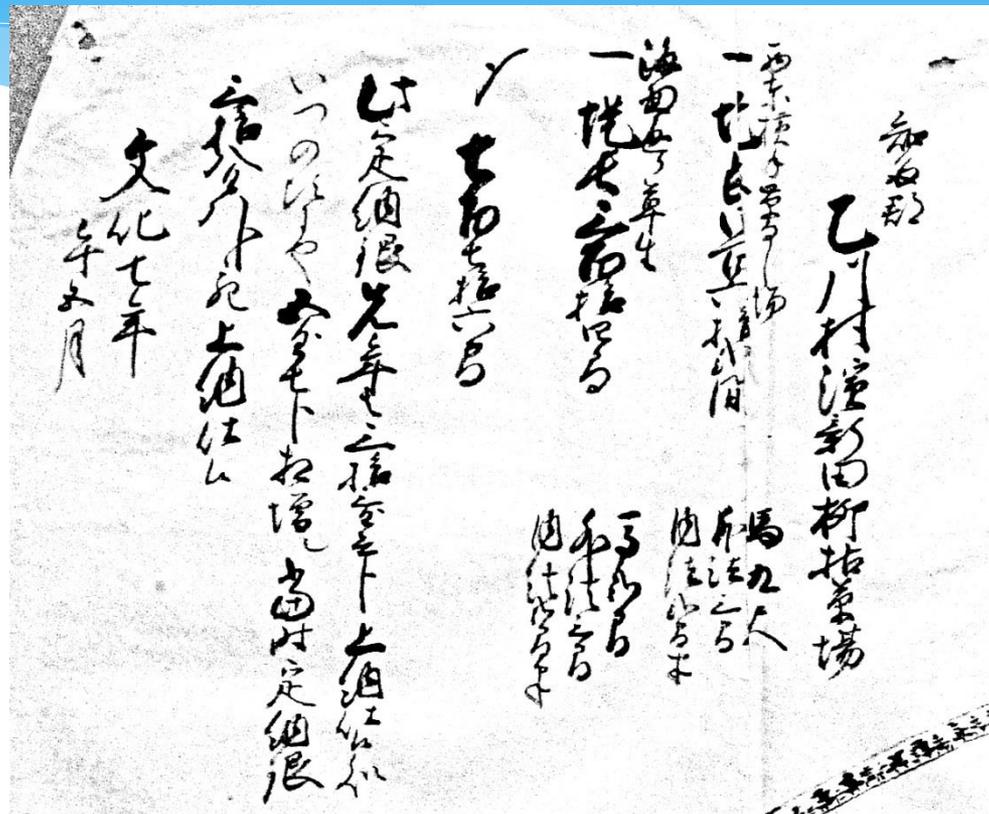
□□前々御除寺社森林拾貳ヶ所 壺町四反貳畝五分

延享三年丑二月

大脇村御山廻 相羽伊之右衛門

西大高村御山廻 山口岡右衛門

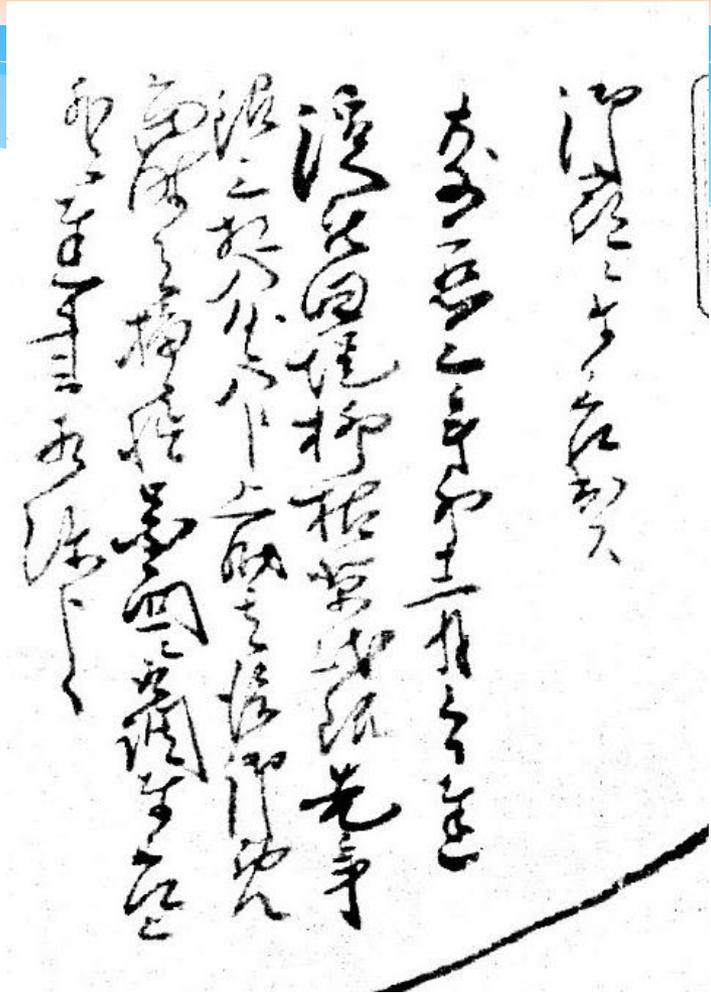
草かり場の税金 文化七年



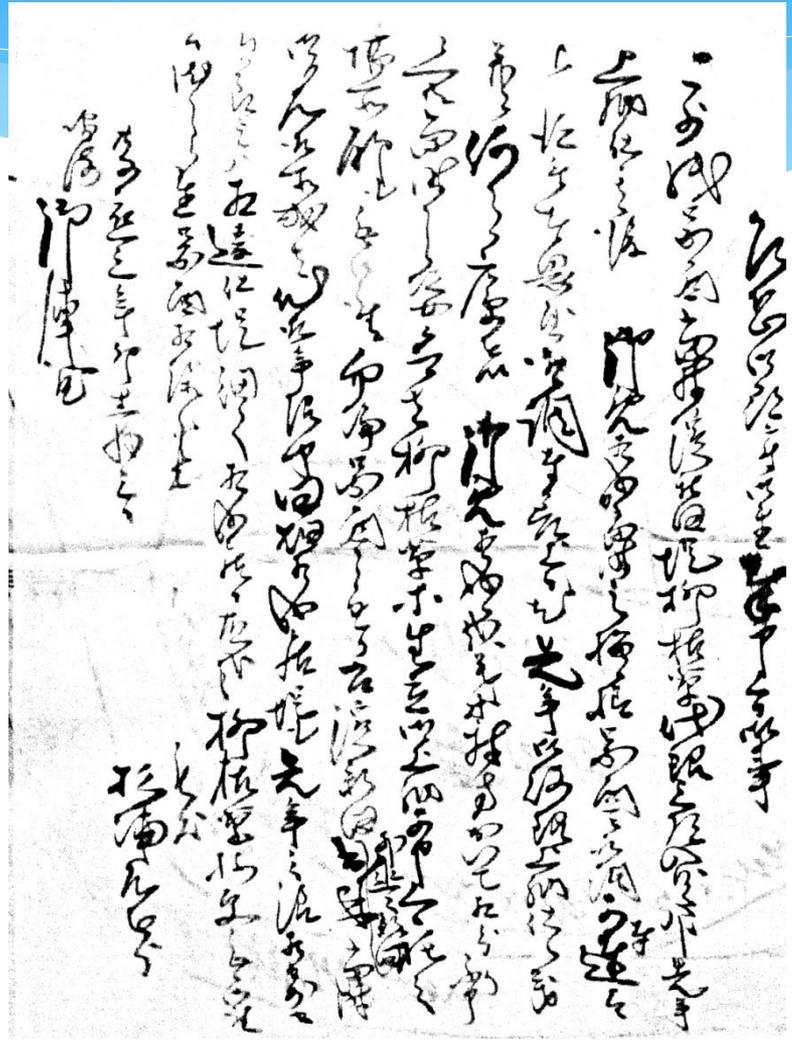
知多郡乙川村濱新田柳枯草場
 西東横手草かり場 一 堤長四百六拾貳間 馬九尺、
 外法三間、内法貳間半
 海面通り草生 一 堤長三百三拾四間 馬二間、外法
 三間、内法貳間半
 〆七百七拾六間
 比定納先年八三拾三匁壹分上納仕候処
 いつの頃にや五匁七分相増し当村定納銀
 三拾八匁八分宛上納仕候
 文化七年午五月

慶応三年草かり場税金

御尋二付差出ヌ
慶応三年卯十二月三日達
浜新田堤柳枯草代金先年
銀三拾八匁八分上納其後御免
当時之挿植図面二取調奉差上
外二奉書相添申候



草かり場の税金 慶応三年



乍恐御尋二付御座奉申上候御事

別紙図面当村浜新田堤柳枯草代金三拾八匁八分先年

上納仕其後御免相成當時之挿植図面二取調可奉達上候

上□□奉恩候取調奉指上候尤先年以何銀上納仕候儀

并二何之庖者御免相成候哉ノ是亦村方かいも相分り不申

候へ共當時の姿色者柳枯草等生立御上納可申上候社之

場所聊無御座候勿論図面通り左浜新田外三之新田出来当

時

御見取相成者作取年限中田畑相成此堤も先年之銀相寄七

候節与八相違仕是細々相成つ、相成柳枯草猶更無御座

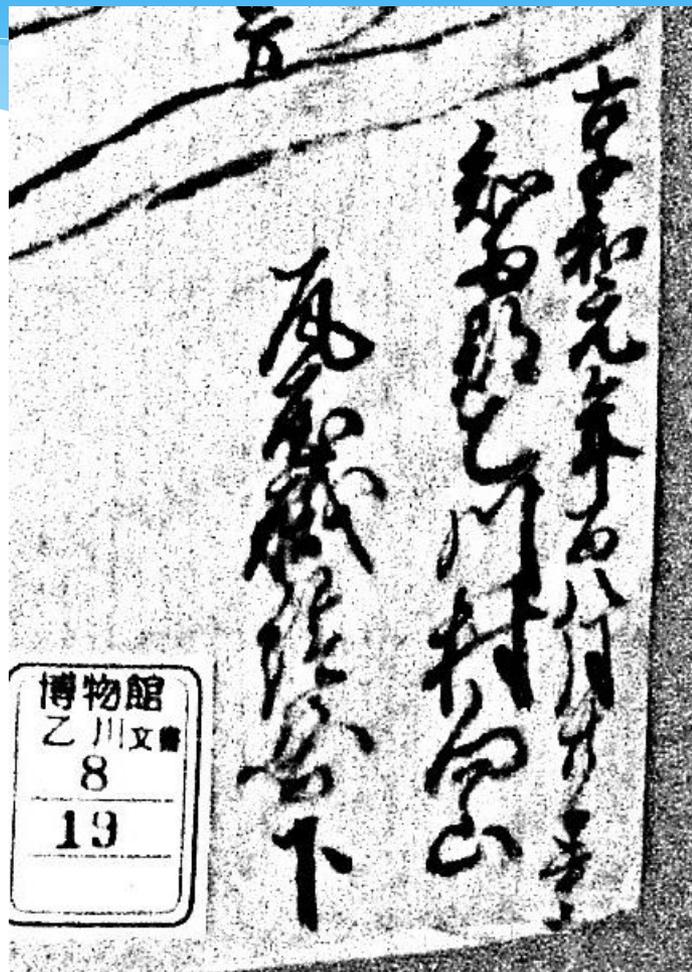
候就て達図面相添申候以上

慶応三年卯十二月三日 庄屋杉浦庄七郎

鳴海御陣屋

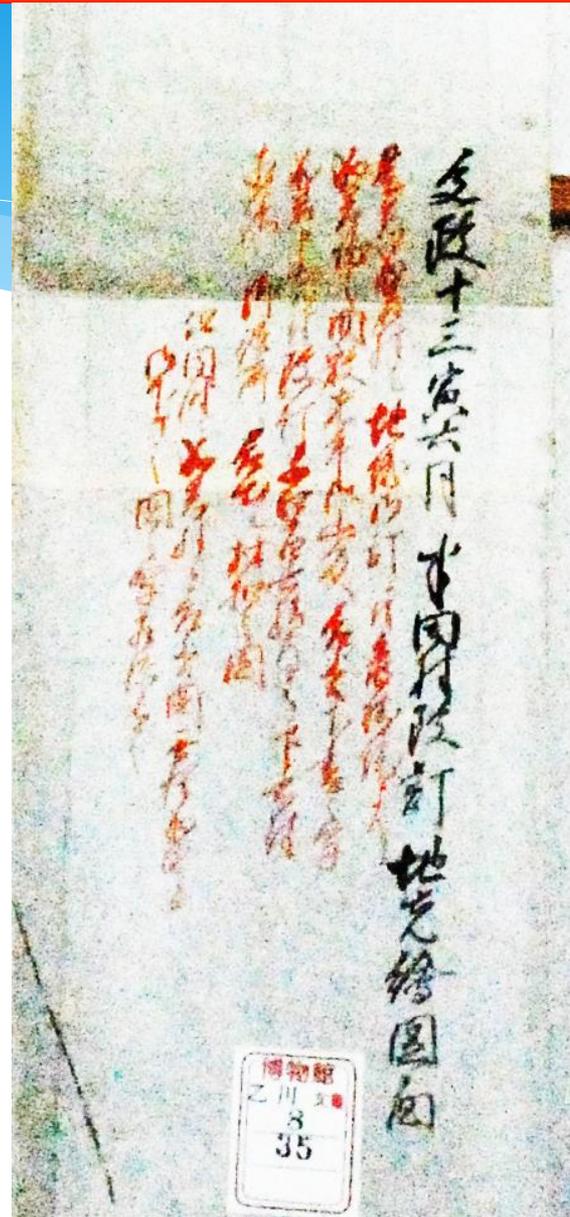
享和元年の向山絵図

享和元年酉八月廿日書上
知多郡乙川村向山
瓦屋職絵図下



文政十三年衣浦湾図面

文政十三年寅六月半田村改訂地先絵図面
是者成岩村より地境御訂(タダシ)ニ付亀崎
港より
成岩境之間數先年御山方へ差出下書之写
成岩申出に付改訂千四百六十間之御書付
相添御役所差出し村扣之図
但同時二成岩村より差出図面無程由も
御座候図之写相添有之



天保12年絵図

天保十二年辛丑年五月

知多郡乙川村御蔵入地并給知田畑色分々絵図
惣高貳千四百九拾七石貳斗三升八合

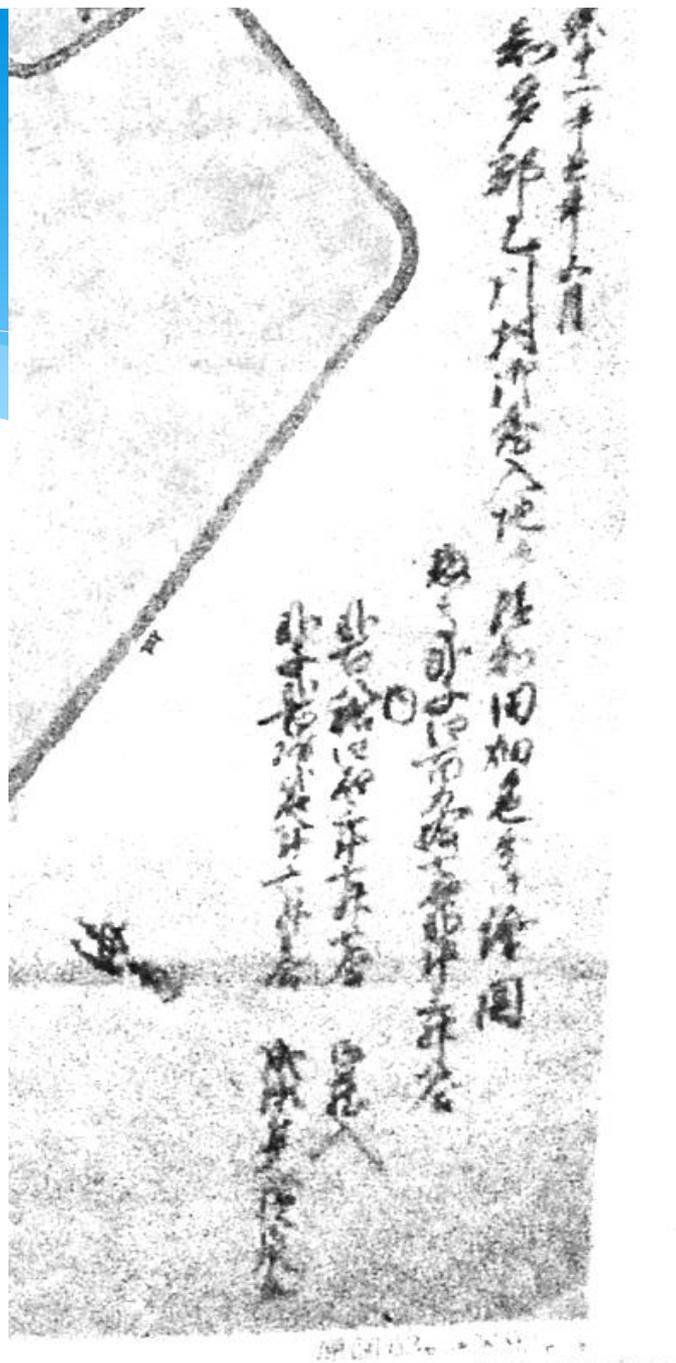
内

貳百八拾四石三斗七升七合

御蔵入

貳千貳百拾貳石八斗六升壹合

成瀬隼人正様御領知



寛文期(1660年代) 成瀬家の給地

村名	給知高(石)	村惣高(石)	人口	牛馬(疋)
乙川村	1,559	1,992	1,834	114
亀崎村	456	599	1,997	6
半田村	1,375	1,378	1,842	67
成岩村	2,637	3,017	3,063	209

成瀬家の知多郡の給地は、元禄6年(1693年)御蔵入地となるが、文政9年(1826年)回復している。

表は、犬山白帝文庫の研究報告による。

嘉永二年衣浦湾図面

嘉永貳西拾月鳴海
御陣屋ヨリ御尋ニ付書上申候
但シ大苅(府)村ヨリ須佐村迄一圓之
図面ニ而東浦一流申合書上候成
海辺絵図面
汐源并二三州迄之町数覚
本紙写東浦一流之絵図面
亀崎ニ有之候

